

No.122 SIDE B



しました!



10月某日金沢を訪れる(出張し言いたいけと) 元用です すみません)。事前にレブックス全沢店 のNさんに帯話。植草甚ースクラップラック全 41意見結に合せ、早速全点フェアをかってくれる とのこと。ならば、と補尊さん立ち客看板を持え て持ちする。東京駅から上越新幹線越後 湯泥聖梅文で片道的4時間。金沢市内に はむいさん見に「香椒糖草さん」ともじもその 夜は一泊させていただいた。翌日さっそくレジ 前の柱まかりで展開中のフェア台にニコニコ 顔の種草さんが健康。文芸者平台では、け梅 月刊ノベックナンバーフェア、その隣りに見古本屋 三氏著なども近び、既やかだ。人文書担当のYさん

の平台では地元を深大賞で教育さとる仲正

思樹氏養が小社刊も含めてきたりし面換さ

れている。自社本中心主義で明めるととても、そ

ります。ちなみに全沢ならではの売行きパスト は『おけくろを沢ヴ』(北国新聞社)。今日 20日に新回金沢梅定が実施されるためそのテ キストとして只今挨群に変かているそうです。五木寛文 は世の日新倉沢小景の(元ピ金米)がこれに続く 地元ペストセラー。魚目がおいい金沢、せったくなら でお薦めのか店で昼食。及近江町市場のパーキング 首的分入了有心在手に打了廣堂(井/引水)。一番人位 の井は外井850円は、まぐろ、いか、いくらにきゅうり、 われめ、山茱田子水婆響の無見中心にたっての!番り 高い岩海苔のみを汁付き、美味でした!金野草五朗 具全時年などのか質野婆 これからが切のか二も金沢 名物! ここの人のは独自の文化に誘りまそっている と金沢人気質を教えてくれたいさん自身は囲心の生ま 目の輪車林。『月の輪車林を水から。そば内花 れ、大/か出身のご生人と結婚され縁あってここを深 に一路り住くだのが断年初更のこと、それまでは単生「将来何になりたいか」が書かれている。 時代から就職まで14年間東京暮らしだった。10年 Nさんのひとを「本やさんになりたい」 前にしていカスに入れ、池袋店で文庫から文祭さら に現電電、常常などを担当。文芸担当時は

No.8 と、良いお店だなおと思う。お世話になっておりとりいわけ独自のフェア企画を次々と打ち出し、 小社も新刊版刊、たくさん仕掛けてけただか。 第者許でも(前目)を場の) 南陀棒銭繁さんぐ 関いあ武志さん等、彼年の仕事3代1に一目おく人は %い。倉水に越された後、期せずして昨年9月 1日上が、クス全沢店が新規オープンする。 かの地でいせんは再び上がクスの人とだった。 彼切現場獲過は版元とには婚しい話だ。 現在は、児童、学修、錯像さらに文芸を担当。 めばり本を売ることそのものがはきなった。 植草さんではされけれど、N土人も自襲製本した 上級のスクラップもに仕事にあかる様々な紙、 モラシ、メモ、注文矩冊など Bb1)こんでいる。見せて もううとその最初の頁にガリ版刷りて" 「未来のわなしたち」と願された、小学校の 空業文集のナかれ端。クラス全員など言まっ

12歳の希望はそのままかって今にをる。

[取材·大貴 营業师 高橋干代]